

アドバンス
advance [前進]



茨城県独自の緊急事態宣言発令中『ステージ4』 令和3年1月21日 (No.13)

知っているようで知らない



“新型コロナウイルス感染症に関する検査”について

検査の種類	検査の目的	検体	検査の特徴(長所、短所等)
PCR検査 ウイルスを特徴づける遺伝子配列を調べる。	今 感染しているかどうかを検査	鼻咽頭拭い液 唾液、痰	○ウイルス量が少量であっても検出できる。 ●検査結果が出るのに時間がかかる。 
抗原検査 ウイルスを特徴づけるタンパク質(抗原)を調べる。	今 感染しているかどうかを検査 (発症後2~9日)	唾液 鼻咽頭拭い液	○30分という短時間で検査結果が出る。 ●ウイルス量が少ないと検出できないため、見逃す可能性がある。
抗体検査 ウイルスに感染すると形成されるタンパク質(抗体)を調べる。	過去 感染したかどうかの有無を検査	血液	○個人の診断というよりも、感染症の全体像を把握し、公衆衛生上の対策に役立てることができる。 ●今感染しているかどうか不明。 ●過去に感染した人でも、無症状だった人や軽症の人は陰性としてしまうことがある。

現在、発熱等で医療機関を受診すると、インフルエンザの検査と一緒に検査していることがある。

ウイルスに感染した場合のみでなく、ワクチン接種したことによって抗体ができた場合にも陽性となる。

参考：厚生労働省ホームページより

もしも PCR 検査を受けることになったら… → まずは学校に連絡を!

※同居家族が PCR 検査を受ける場合もご連絡ください。状況によっては、自宅待機していただくこともあります。その際も『出席停止扱い』となります。

現在の保健室の様子

12月より、感染症蔓延防止のため、保健室を2つに区切りました。1つはこれまでのどおりの保健室、もう1つは発熱者や体調不良者のためのスペースとなりました。保健所のアドバイスをもちに、機械科3年2組の生徒5名が、感染症対策の取られた、『新しい保健室』を作ってくれました。今までは、発熱で早退する場合は別室で待機し、保護者の方のお迎えを待っていましたが、今は感染症対策の取られた保健室で、養護教諭が経過観察を行い、安心して休養しながらお迎えを待つようになっています。

現在、学校では、体調が悪い時は、熱がなくても自宅で休養するようお願いしています。また、茨城県において、新型コロナウイルス感染症の流行が拡大している中では、家族の方で体調が悪く休養されている場合も、登校を控えていただくようお願いしています。

今後、流行がさらに拡大していくと、学校での体調不良者も増えてくると思います。**保護者の方には、感染症蔓延防止のため、お迎えの連絡がいきましたら、なるべく早くお迎えに来てくださるよう、ご協力よろしくお願いします。**



ガラスや透明シートで区切りました。こちらの部屋にもエアコンと換気扇がついています。

保健室のゾーン分け